

全国病児保育協議会のホームページ <http://www.byoujijoiku.ne.jp>

全国病児保育  
協議会  
広報委員会

# 病児保育協議会ニュース



＝今号の目次＝

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 頁 協議会メール 厚生労働省訪問記</p> <p>2 頁 平成22年度～平成23年度新常任協議員名簿</p> <p>3 頁 常任協議委員会委員構成紹介<br/>会長・副会長・各委員会委員長紹介</p> <p>4 頁 さくらまちの病児保育所行脚3</p> <p>5 頁 支部便り 愛知県支部から<br/>学会参加報告(広報委員会)</p> | <p>6 頁 加盟施設紹介<br/>研和会病院 おひさまはる<br/>盛岡医療生協川久保病院 虹っ子ケアルーム<br/>第21回病児保育研究大会ご案内</p> <p>7 頁 みんなにききたい!(新コーナー)<br/>トツゲキ!!保育室のお昼ごはん(新コーナー)</p> <p>8 頁 全国病児保育協議会新規加入の施設紹介<br/>編集後記</p> |
|---|---|

## 協議会メール 厚生労働省訪問記

全国病児保育協議会副会長 原木 真名

7月1日、厚労省訪問に行ってみました。木野会長、稲見、池田、原木副会長が参加いたしました。梅雨末期の不安定な天気、突然ざっと降りだす雨を気にしながらの訪問でした。

今回は、実態調査、および、要望書を厚労省に示すための訪問です。保育課長は不在で、平山担当係長が面談してくださいました。

まず、木野会長より、厚生労働省 雇用均等・児童家庭局長 伊岐典子殿あての要望書を手渡し、説明しました。要望書の内容は、  
1)平成21年度改定で利用実績に応じた補助方式に変更されたが、固定(基礎)部分の増額および実績分のさらなる増額を要望する。また、利用料金は2000円が現状であるので、補助金増額にて対応して欲しい。

2)新型インフルエンザ等新興感染症においては、「病児・病後児保育事業」に従事する看護師・保育士も医療従事者としてワクチン優先接種の対象にしてください。という趣旨です。

<補助金について>  
木野会長

平成22年4月、協議会役員と支部長および関連施設に対し、

平成19年度から22年度(見込み)の利用数と補助金額を調べた。38施設中50%が増額されたが、いずれも年間利用数が1000人を超える大規模施設で医療機関併設型だった。一方、補助金が減額になったのは13.2%で、減額率は約40%、減額5施設のうち3施設は保育園併設型であった。小規模、保育園型は補助が下がってしまった。民間保育園で実施している保育所型などは閉鎖の危機。

病児保育はセーフティネットであり、利用者が少なくても地域にとってはなくてはならない組織である。是非、基本部分の増額をして、基本分が保障され、存続が保障される補助をお願いしたい。  
(返答要旨)

利用率が低いところも大切な役割を担っているということはわかっており、どのように支えるかが課題である。

補助金の金額だが、厚労省としては、各施設が利用率を上げてほしいと考えている。1週間に1人は最低来るとかかんがえると、年間50人、これをぎりぎり維持出来るだけの金額をだしている。600人を超える施設については、保育士2人、看護師1人が雇用できる金額を考えている。

厚労省としては、利用率5割まではがんばって欲しいと思っている。利用率が5割に達すれば、利用料を+すれば経営できる補助金額と考えている。

病後児保育(保育所型)は疾病の対象を限ってしまうので、利用者が増えないという面がある。利用者を増やすためには、感染症の受け入れを可能にしたりして、預かれる疾患を拡げるように考えていきたい。

平成22年までは安心こども基金というのがあって、感染症対策の備品や関係費について予算がおりていた。今後がどうなるかは未定だが、同様の予算がついたら、感染症でも受け入れられるように保育所型の設備整備がすすめられるかもしれない。

木野会長

保育所型で病児を診る場合、嘱託医との連携が必須。その部分もしっかり補助してほしい。

隔離をすべきかどうかの判断などは、医師に任せられる。

<利用料金について>

木野会長より、現在利用者料金は全国的に2000円前後で、多くの利用者にとってこの金額が精一杯。保育園に通わせているという時点で保育料を負担している。し

かも、保育園には来てはいけないといわれた子達が利用するわけで、保育園と同じように利用者から徴収することについて難しい面もある。利用料金は2000円前後に抑えて欲しい。

(回答要旨)

利用者負担分について、現時点では公費半分、利用者負担半分というのが保育課としての対応で、他の事業も同じ考えで計算している。これを変更するには、公費をどうつかうかという枠組みを考え直すということになり、現行制度ではこのままいくしかない。市町村の判断で、2000円に抑えてくれている状況もあると思う。今後新しい保育のサービスとして、計画されていく可能性もある。今後議論されていくと思う。

係長から

<新型インフルエンザのワクチンについて>

保育所からも、新型インフルエンザの対象者に保育士を入れて欲しいという要望があった。今後は要望を受けて考えるが、最終的には自治体の判断となる。現場の必要性に応じて、自治体で柔軟に対応して欲しい。

<総括として>

子ども子育て新システムが計画されており、少子化社会対策会議において子育て支援の骨格を作っている。多様な給付サービスの一つとして、病児保育も位置づけられている。すべての子どもたちのニーズにこたえるべく、体調不良児や派遣型もふくめて検討されていく予定である。

木野会長

保育所の保健室機能と病児保育の医療機能の線をひくべきである。訪問型でも同様で、安全性の担保をすべきである。医療機関との連携をどんどんやっていくのが良いと思う。

以上が概略です。

国の子育て支援策が大きく変容するときに来ていることを感じました。厚労省も、病児保育のいままでの活動を評価し、その必要性を理解しています。協議会として、今後も継続的に会員の日々の活動をしっかりと伝え、働きかけていくことの大切さを痛感しました。また、厚労省の方向性をしっかりと見守っていく必要があると思いました。

全国病児保育協議会 平成22年～23年度 常任協議員名簿

名誉会長	保坂 智子	大阪府 枚方病児保育室 (香里)
顧問	帆足 英一	東京都 ほあし子どものこころクリニック
会長	木野 稔	大阪府 社会医療法人真美会 中野こども病院 病児保育室きしゃぼっぼ
副会長	池田 奈緒子	神奈川県 エンゼル多摩
	稲見 誠	東京都 いなみ小児科 病児保育室ハグルーム
	原木 真名	千葉県 まなこどもクリニック ポピンズルーム
監事	二宮 剛美	三重県 二宮病院 四日市市病児保育室 カンガルーム
	青木 佳之	岡山県 青木内科小児科医院内 山陽ちびっこ療育園
常任協議員	池田 奈緒子	神奈川県 エンゼル多摩
	稲見 誠	東京都 いなみ小児科 病児保育室ハグルーム
	神原 雪子	大阪府 八尾徳洲会総合病院 病児保育室モコモコ
	木野 稔	大阪府 社会医療法人真美会 中野こども病院 病児保育室きしゃぼっぼ
	羽根 靖之	三重県 (医) 童心会 よいこ病児保育室
	原木 真名	千葉県 まなこどもクリニック ポピンズルーム
	福富 悌	岐阜県 福富医院
	藤本 保	大分県 大分こども病院 キッズケアールーム
	前田 敏子	愛知県 医療法人萌木会コスモスこどもクリニック なずな病児保育室
	松本 一郎	福岡県 松本小児科医院早良部病児デイケアールーム エンゼルさわら
	南 武嗣	鹿児島県 みなみクリニック 病児保育室ダーク・ヘム
	荒井 宏治	青森県 あらいこどもクリニック 病児保育室きりん
	大川 洋二	東京都 OCFC 病児保育室うさぎのママ
	佐藤 勇	新潟県 よいこの小児科さとう 病児保育室よいこのもり
	高橋 広美	東京都 砂原保育園 病後児保育室とまと
	永野 和子	熊本県 NPO 法人チャイルドケアサポートみるく
向田 隆通	愛媛県 むかいだ小児科 キッズハウス	
委嘱協議員 委嘱常任協議員	佐藤 里美	千葉県 さとう小児科医院 病児保育室バンビーノ
	庄司 順一	東京都 青山学院大学文学部教育学科
	野原 八千代	千葉県 聖徳大学短期大学部保育科
	藤本 文孝	大阪府 株式会社関西共同印刷所
	帆足 暁子	東京都 ほあし子どものこころクリニック

全国病児保育協議会 平成22年～23年度 委員会構成

広報委員会	【委員長】 神原 雪子 【担当副会長】 原木 真名 【委員】 永野 和子、藤本 保、藤本 文孝、前田 敏子 【作業委員】 池田 光江、岸本 範子、竹内 郁子、常丸 香織、向田 直美
研修委員会	【委員長】 大川 洋二 【担当副会長】 稲見 誠 【委員】 佐藤 勇、佐藤 里美、帆足 暁子、福富 悌、南 武嗣 【作業委員】 犬飼 恵子、遠山 法子
調査研究委員会	【委員長】 羽根 靖之 【担当副会長】 池田 奈緒子 【委員】 松本 一郎、向田 隆通
機関誌編集委員会	【委員長】 原木 真名 【委員】 池田 奈緒子、稲見 誠、大川 洋二、神原 雪子、木野 稔、羽根 靖之、藤本 保、帆足 暁子、帆足 英一

全国病児保育協議会 平成22年-23年度 プロジェクトチーム (PT) 構成

法人化PT	リーダー 稲見 誠
自己評価基準PT	リーダー 帆足 暁子
20周年記念誌PT	リーダー 木野 稔
感染症対策PT	リーダー 大川 洋二
インシデント管理PT	リーダー 向田 隆通

会長・副会長・各委員会委員長紹介

	<p>会長：木野 稔 「これで最後と、3期目の会長を務めさせていただくことになりました。小児救急の中野こども病院院長ですが、保育のない小児医療なんてあり得ないと実感する毎日です。病児保育をステーションとして、地域連携を推進していきます。」</p>		<p>広報委員長：神原 雪子 今期も広報委員長を担当させていただく神原です。広報委員会は会員内への広報、利用者さんや社会への広報を2本柱に活動を行っています。メンバーが新たに加わり、各地方ブロックに1名広報委員が担当できるようになりました。またニュースもリニューアルし、新コーナーもできました。執行部からの情報や地域の研修会の様子や施設紹介など、会員へさまざまな情報をお届けしていきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い致します。</p>
	<p>副会長：池田 奈緒子 副会長をさせていただきます池田です。川崎市エンゼル多摩での病児保育も15年になりますが、まだまだ日々新しい経験があり、このお仕事の深さを改めて実感しています。初心に立ち返り、丁寧な保育看護を今一度見つめなおしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>		<p>研修委員長：大川 洋二 研修委員会の委員長を委託されました大川洋二です。研修委員会が担当する基礎研修、ステップアップ研修は病院保育のレベルの標準化に大変重要な役割を担っています。全国どの病児保育に預けても安心できる水準を維持するために機能したいと思っています。南前研修委員長の功績を、引き継いで、会員の皆さまのご意見、ご希望をお聞きして、これからも役に立つ研修企画を立てていくつもりです。</p>
	<p>副会長：稲見 誠 「雨にも負けず、風にも負けず、赤字経営の苦しさにも負けず、年老いた思考能力の減退にも負けず、日々、過ごしております。風通しのいい会にして、皆さんの様々な意見を聞きながらまた2年間頑張ります。」</p>		<p>調査研究委員会 委員長 羽根靖之 私共は実態調査等を実施して、その結果を厚労省との様々な交渉や会員施設に役立つ事業のために使う資料作成をする委員会です。皆様の御協力あってこそこの委員会と言えます。ぜひ、100%の御協力をお願い申し上げます。</p>
	<p>副会長：原木 真名 今期2期目の副会長を拝命いたしました。協議会の体制が激変する中の重責で、気をひきしめてがんばります。20周年の節目を、実りある変化にもっていければと思っています。2年間よろしくお願ひ申し上げます。</p>		



## さくらまちの病児保育所行脚 = 3

帝京平成大学 田邊ますみ

おはなし、おはなし、「さくらまち」田邊ますみの病児保育所を訪ねる旅にお付き合い願います。

今年の夏は早く暑くなり長く、病児保育所の皆様も忙しかったのでは。どうぞご自愛ください。

私は、今年度前期に日本保育学と、日本医療保育学会に参加した。今回は番外編としてそれにちなんだ報告をしたい。

### 《日本保育学会》

今年は愛媛県松山市で開かれその際、芳村小児科内科医院病児保育室「ペルソナ」を見学した。芳村先生は、仕事を休めない人々のお子様の保育を助けようと、「トンチンカン保育園」を運営していた。子どもはトンチンカンなことをたっぴりやりながら、ひとつの体験としてまとまってくる子どもを観が、保育所の名の由来だ。その保育所内には、元から病児保育室を作った。

医院の新築の際、病児保育室を院内併設とした。病児保育に来る子どもは、一人のパーソンとしての人格を持ちながら、病気であるペルソナの仮面をかぶっている。そこを配慮するのが病児保育である。リピーターが多くいて、お母さん・お父さん達から、『また、お願いします』と子供も帰られるそうだ。

芳村先生は、病児保育を次世代につなげて行きたいと言われた。我々が大切に育ててきた病児保育をいかに次に繋げるかは、大きな課題となるだろう。

### 《日本医療保育学会》

今度は学会の様子を報告しよう。学会は私が病児保育所行脚せずに、大勢のスタッフに会い情報収集の機会になる。日本医療保育学会は、7月31日～8月1日に東京家政大で、「医療保育の充実にむけて」と題して開かれた。学会中に、病児保育スタッフの何人から声をかけてもらい、出合いのうれしい場であった。

医療保育学会は、関西の病棟保母研究会から始まったと小耳にはさんだが、多くの病棟で働く医療保育士が集まっている。プログラムは、講演、シンポジウム、一般演題、最後に特別講演があった。そのうち2つを報告したい。

一つ目は、網野武博氏の「保育士の役割と保育支援、育児支援」の教育講演で、「新たな保育の専門性として、保育のケアワークだけでなく、指導というソーシャルワーク技術を身につけている保育士が求められている。病気も生活の一部として、病気を通して親がどう育つかを支援する」という言葉は、今後ますます家族支援、相談援助が求められる現実に即していた。

二つ目は、落合恵子さんの特別講演である。「命の感受性 ～子どもの本の現場から～」と題して話された。

私達は、死者の生きられなかった時間を生きているのだそうだ。誰もが自分に生まれた良かったと感じる社会であって欲しいのに、現在は弱肉強食の格差社会である。長寿でごめんなさい、障害を持つ人には声を小さくする社会である。大人が幸せ出ないとダメ、自分が何のために生きているか深呼吸できる瞬間、余裕がないとダメ。

余裕とは心と経済的なもの両方であり、自分を大切にするように、メッツセージを渡された。

同時に落合さんは、『戦う女』であり、現状を変えようとする人が好きだそうだ。子どもも年よりも、ぎりぎりを生きている。この現実に対して、自分はなにができるかそれぞれの立場で行動する。家庭や職場や地域で、人格と平和を話題にして欲しい。人格は命であり、命を土台としていく大切さを訴えて行きたいと決意を述べられた。ご母堂の会と体験を通して

語られた具体的内容は、会場を感動させた。

毎日をこなすという状況で生きている私にとって、何を大切にするか問い直す時間であった。私が、明日から前向きに生きられるエッセンスをもらった。

### 【私の願い】

子どもが病気の時でも、子どもの豊かな心をサポートしていきたい、病気の時でも保育を保証したい。これが、私の願いです。

私の旧姓は、“さくらい”、花が好きです。育児の原点には、待ち、見守り、自立を促すことがあります。私は、考えるより先にまず行動。待てる人間になりたい。これが私自身への願いです。

### 【なぜ病児保育か】

1986年(昭和61年)に長男が誕生してから、1996年(平成8年)まで、四人の子どもに恵まれました。いろいろ仕事を変えながら、夢中で育てる中、最も大変だったのが、子どもの病気であり、休めない仕事との両立に悩みました。

子どもが病気の時、夫や私が休んだり、親戚にヘルプを出したり、ベビーシッターを頼んだりしました。一人の子どもの風邪ならば、何とかこれでしのげましたが、四人が次つぎに感染症にかかるとお手上げでした。

結局仕事を変えた大きな理由は、子どもが病気で休んだことでした。失職した時大学で学ぶ機会を得、テーマを「子どもが病気の時のケアについて」にしました。今一番知りたいことを探求する時間を自分に作るのは、大変贅沢なことでした。

病気の子どものケアについて、自助努力では足りずに、公的援助を探ると病児保育所がありました。

### 【私の疑問点】

- ・病児保育所の日常とは何か
- ・病気の子どものケアに、保育士を入れる必要性はどこにあるのか。
- ・病気でもなぜ子どもは遊ぶのだろうか

東 西 南 北 支 部 便 り

愛知県支部から  
第5回愛知ブロック交流集会  
くまい医院・くまちゃん病児保育室 大橋 良重

平成22年6月5日(土)に第5回愛知ブロック交流集会を、愛知県春日井市のくまい医院「くまちゃん病児保育室」で開催いたしました。

協議会非加盟施設を含めた12施設より51名(医師3名・看護師13名・保育士32名・他職種3名)の多くの方が、土曜日の診察・保育業務の後にもかかわらず、参加して下さいました。

2時間という短い間でしたが【分科会：病児の食事とおやつについて】と【意見交流会：7グルー



プ<1グループ5~7名>に分かれ自由なテーマで意見交流の2部構成で行いました。

分科会では当院の管理栄養士、永井真理が、小児の栄養の大切さ~各病態に応じての食事・脱水症の危険や予防について、講義をさせていただきました。会場には具体例として各症状に合わせた献立の展示や食品・食材のサンプルを陳列し、其々を写真に収めることができるので、分かりやすいとの声もいただきました。

当保育室ではできる限り手作りの給食を提供しておりますが、その献立の中から3品目を試食していただきました。実際に病児食の試食をする事で、手作りの良さや献立の工夫を見直す機会に役立ったかと思えます。

意見交流会では、テーマが自由だった為様々な問題点が其々のグ



ループで出されました。例えば「好きだから…と病状に全く合わない食事を準備してくる保護者への対応はどうしていますか?」、「保育スタッフ自身のインフルエンザ予防接種の抗体が切れた時期でのインフルエンザ児の利用はどうしていますか?」など、まさに実践において困ったことが提起され、皆で解決策について意見を交わし熱い意見交流会となりました。実践者レベルの話し合いは即明日から活かせるものや、「私達も頑張ろう!」と言う刺激となることなど、活気に満ちていました。

まだまだ話し足りないと思うほど活発な意見交流を行うことができ施設ごとの繋がりやブロックでの交流の必要性をあらためて感じました。

学会参加報告 広報委員会

「日本医療保育学会」参加報告

平成22年7月31日・8月1日の両日、第14回日本医療保育学会「医療保育の充実にむけて」が、鈴木裕子会頭のもと、東京家政大学で開催されました。医療保育学

会は、「医療を要する子どもとその家族を対象として、子どもを医療の主体として捉え、専門的な保育支援を通して、本人と家族のQOLの向上を目指すことを目的

「日本外来小児科学会」参加報告

平成22年8月27日~8月29日に、第20回日本外来小児科学会年次集会「絆」が、田原卓浩会頭のもと、福岡国際会議場で開催されました。

今回は、「全国病児保育協議会」を学会等で紹介する、大型ポスターのお目見えということもあり、少々委員は緊張していましたが、協議会に加盟されている先生方も多数広報委員会の「病児保育紹介」のブースにお立ち寄りい

ただき、声をかけていただき、大変心強く、嬉しい限りでした。

また、「病児保育を始めたのだから、どうしたらいいのか?」や「開設しているのだから、行政とうまく連携できない」など、協議会に加盟していらっしゃる施設の方からお話しをうかがうこともでき、「是非、協議会に加盟してください」としっかり、宣伝もしてまいりました。

「病児保育協議会パンフレット」

とする」として、運営されています。

お顔見知りの方が多く、「病児保育協議会ニュース」と「第21回病児保育研究大会の案内」を配布、また、「病児保育マニュアル」「病児保育研究」を展示させていただきました。



「病児保育協議会ニュース」「第21回病児保育研究大会の案内」を配布、また、「病児保育マニュアル」「病児保育研究」を展示させていただきました。

# ★ ★ 加 盟 施 設 紹 介 ★ ★

## 健和会病院

おひさまはるる

わたしたちおひさまはるるは今年4月12日からスタートしたばかりのピカピカの病児保育室です。やさしくてあたたかい春の木漏れ陽の下にいるような安心できる空間を目指しています。

子どもたちが1日をゆったりと安心して過ごせるよう、年齢や病気に応じて部屋を分けたり関わり方を変えながら、保育士もゆったりとした気持ちでみています。

はじめは泣けてしまいうお子さんも多いですが、いつのまにかおひさまはるるの雰囲気慣れていく姿をみたり、「ここがあってほんとによかった」と言ってお下さる

お母さん達の言葉を聞くと、とても嬉しい気持ちになります。

頑張ってお父さんお母さんたちのため少しでもお役に立てるように頑張りたいと思います。

施設長 牛山 雅夫  
所在地：395-8522  
長野県飯田市 1936 番地  
TEL&FAX  
0265-23-4001  
ホームページ  
<http://www.kenwakai.or.jp/>



## 盛岡医療生協 川久保病院

虹っ子ケアルーム

核家族で共稼ぎする家庭が増える中、子育て支援の一環として7年前に病児保育室をスタートしました。

09年度は700人以上の利用(08年度は510名)があり、看護師と保育士が連携し、病気のお子さんの保育、看護にあたっています。

病状やアレルギー食に配慮した温かい食事やおやつはみなさんに喜ばれています。定員は6名。対象年齢は3カ月～小学校3年生まで受け入れています。

施設長 小野寺けい子  
所在地：020-0835  
岩手県盛岡市津志田  
26-3-1

TEL：019-635-4440

ホームページ

<http://kawakubo-hos.jp/>



## 第21回全国病児保育研究大会 in 大分の御案内

テーマ：究極の育児支援 病児保育のさらなる発展を目指して

～誰のために、何を求めて～

日時：2011年7月23日12:30～2011年7月24日12:30(予定)

会場：iichiko 総合文化センター(メイン会場：音の泉ホール)

一般演題：全てポスター発表とします。

特別講演：松井 猛氏

(野生猿で有名な高崎山自然動物園の元案内係で日本猿の研究者)

教育講演：上野行良先生

(福岡県立大学人間社会学部および大学院人間社会学研究科教授)

もう1名交渉中

懇親会：大分全日空ホテルにて大分の山の幸、海の幸を食しながら、全国の仲間と和やかなひと時をお過ごしください。

来年の夏は、おいでちょくれ！大分へ



別府市鉄輪温泉の湯煙



高崎山のお猿さん



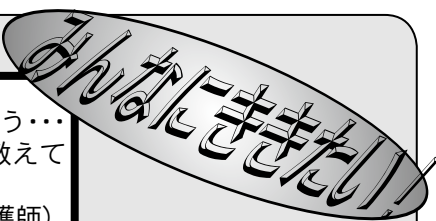
会場の iichiko 総合文化センターと大分全日空ホテルオアシスタワー



## 今回の質問

体調が戻ってきて、元気で動きが出てきたけれど、咳も誘発されてしまう・・・  
安静を保ちたい・・・そんな時のお勧めの遊び、とっておきの遊びを教えてください!!

(北海道 看護師)



- 月ごとのカレンダーに、季節の製作をさせています。そして、カレンダーをみながら、保育園の話したり、お休みの日の話をしてりすると、結構子どもたちは、のりのりでお話ししてくれます
- 紙風船(昔からあるあの軽いやつ)で、座ったままのボール突きとかしています。ふわふわと動くので、体は動かしませんが、時々、ハッスルしてしまう子がいるのですが、そこは、保育士の手腕の見せ所:「音を立てないボール突き大会!」となります。(2点 熊本保育士)
- くだもの狩り・・・紙製の大きな木にリンゴ、なし、ブドウをぶら下げて紙の棒で下からすくって遊びます)
- お魚釣り・・・水色のビニールの上にクリップのついた画用紙のお魚を放流して、磁石のついた釣りざおでみんな釣ります。
- 月の制作や、年長児や小学生には一日のタイムスケジュールを作らせてちよっと保育士先生のお手伝いをしたりしています(3点 大阪 看護師 保育士)

### 皆さんの「意見」、質問を募集します

日々の保育看護で、悩んでいること、他の施設ではどうしているか聞いてみたいことはありませんか? また、質問に対する保育看護のコツ、「意見を募集しています」。  
質問 意見、勤務地、職種を書いて、協議会ニュース「みんなにききたい」係り (〒080-0038 北海道帯広市西15条北4丁目2-7 ひなたぼっこ 常丸まで FAX 0155-67-1141 hinatabokko-kikitai@memoad.jp)へ。次号の締め切りは10月30日です。

## ご意見募集中の質問

入室児童がいない時の過ごし方を教えてください!  
制作や壁面づくりの他に、みなさんどのようにされていますか?

(熊本 保育士)

# トツケキ!! 保育室のお昼ごはん

施設名 青森 城東こどもクリニック  
病児保育室ことりの森

定員 4名

当施設は、小児科診療所併設の保育室です。

よって保育室利用の子どもたちの食事はお弁当持ち込みか、レトルト、パック、冷凍食品を提供しています。また、アレルギー25品目にも対応。

病児保育室の食事は、病状に応じた食事の形態を工夫する必要があります。

急性期における食べる機能が一時的に低下し、誤嚥や嚥下困難を引き起こすことが予想されます。食

形態を変えたり、とろみを加えることで安全にたべられます。

子どもは病気のときは一口食べたのがきっかけで遊びや生活面での意欲の源になり、病状の回復にもつながります。

『食べる意欲』は『生きる意欲』へ

ことりの森の食事を食べられる分おいしく食べて元気になってほしいと願っています。

今回はアレルギー対応普通食と急性期の食事を紹介します。

アレルギー対応食(肉じゃが)

当施設では対応食品として、辻安全食品、永谷園、キューピー株式会社を使用しています。



急性期の一例

(おかゆ、肉じゃが、大根のとりそばろあなか)



<おしらせ>

新コーナー『トツケキ!! 保育室のお昼ごはん』では保育室のお昼ごはんの紹介をします。

うちの保育室のお昼ごはんのみならず、人気メニューなどおひるごはんに関係すること、取り組ん

でいることなど紹介させてくださいね。加盟施設のみなさんの原稿、お待ちしております。

次号掲載の締め切りは10月30日です。

宛先は、広報総務担当岸本まで

## 全国病児保育協議会新規加入の施設

478 ◆むらかみこどもクリニック病児病後児  
保育施設むらかみこどもハウス

院長 村上 俊雄  
〒759-0206  
山口県宇部市大字東須恵字下西町開作 1977-11  
TEL: 0836-44-4976 FAX: 0836-44-7550

479 ◆キディハウス にこにこ

医師 川上 初美  
〒755-0024  
山口県宇部市野原1丁目5-6  
TEL: 0836-36-2525 FAX: 0836-36-2525

480 ◆病児保育室「こころ」

理事長 中野 真理子  
〒964-0917  
福島県二本松市本町1-237  
TEL: 0243-23-4740 FAX: 0243-23-4740

481 ◆医療法人 財団慈啓会 おおぐち病児保育室

理事長 新納 憲司  
〒221-0002  
神奈川県横浜市神奈川区大口通 128-9  
TEL: 045-402-3054 FAX: 045-402-3054

482 ◆横浜病児保育室 ファイン

医師 川口 葉子  
〒235-0016  
神奈川県横浜市磯浜区磯子2-13-13-2F  
TEL: 045-355-0526 FAX: 045-355-0526

483 ◆社会福祉法人 晋栄福祉会  
城東ちどり保育園(病後児保育)

園長 瀬崎 健二  
〒536-0021  
大阪府大阪市城東区諏訪3丁目6番33号  
TEL: 06-6167-3755 FAX: 06-6167-3855

484 ◆土庄町病児・病後児保育室 げんきっこ

副院長 葛原 誠人  
〒761-4191  
香川県小豆郡土庄町淵崎甲 1400-2 土庄中央病院内  
TEL: 0879-62-1211 FAX: 0879-62-5332

485 ◆板橋区医師会病院病児・病後児保育室

院長 泉 裕之  
〒175-0082  
東京都板橋区高島平3-12-6  
TEL: 03-3975-8156 FAX: 03-3938-6157

486 ◆田山チャイルドクリニック

院長 田山 正伸  
〒770-0006  
徳島県徳島市北矢三町3丁目3-41  
TEL: 088-633-2055 FAX: 088-633-207

以降の加盟施設は次号で

## 編集後記

★今回は新体制になって初めての定期発行版です。広報委員みんな一丸となり、新しい企画を立ち上げリニューアルしました。会員のみなさまにヒットする内容を届けて行きたいと思えます。

★今年の広報委員会は、スピーディーに、ホットな情報をお届けする！を目標に、頑張ります！色々、ご意見お聞かせください。

★保育室スタッフの皆さんが「ニュースが届くのが楽しみ！」と言われる紙面を目指したいと思えます。新コーナーへどしどし投稿をお願いします。

## 【全国病児保育協議会 広報委員会】

委員長

神原雪子(大阪:病児保育室モコモコ)

担当副会長

原木真名(千葉:ポピンズルーム)

委員(担当地区:施設名)

常丸香織(北海道:ひなたぼっこ)

竹内郁子(東北:ことりの森)

池田光江(関東甲信越:病児保育室ハグルーム)

前田敏子(東海北陸:なずな病児保育室)

岸本範子(広報総務担当 関西:病児保育室こひつじ)

向田直美(中国四国:キッズハウス)

藤本 保(九州沖縄:キッズケアルーム)

永野和子(九州沖縄:みるく病児保育室)

藤本文孝(レイアウト編集担当:関西共同印刷所)

## 協議会ニュースに関するお問い合わせ先

広報委員会総務担当

〒577-0802

大阪府東大阪市小阪本町1-11-3

医療法人あおぞら会 ふじもとクリニック

病児保育室こひつじ 岸本 範子 宛

TEL: 06-6730-5828

FAX: 06-6730-5828

E-mail: kohituj@fujimoto-clinic.org

## 全国病児保育協議会事務局

〒535-0022

大阪市旭区新森4-13-17

社会医療法人真美会中野こども病院気付

TEL: 06-6952-4778

FAX: 06-6954-8621

担当: 藪田・堀込

## 全国病児保育協議会 HP

<http://www.byoujihoiku.ne.jp>